

不適合情報

2022年6月15日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	中央制御室送排風機の運転切替え(A→B)を行ったところ、換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)が潤滑油差圧低の警報を発生して自動停止した。潤滑油と冷媒を分離するため潤滑油ポンプを単体で起動したところ、油分離器の油面レベルが下限管理値を逸脱したことから潤滑油ポンプを停止し、冷凍機(B)および関連機器の安全処置を実施。当該冷凍機からの油漏れがないことを確認済み。当該事象の原因を調査。なお、冷凍機(D)に異常はなく、系統の冷却機能に影響なし。	2022/06/08	G II

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋地下2階(管理区域)南西通路の非放射性ドレン移送系配管溶接部にごく小さな孔が発生し、床面に水溜まり(約20cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該配管を修理。	2022/06/09	
2	3号機	取水電源トレンチ排水電源盤に警報ランプが点灯し、東側排水ポンプが自動停止していることを確認した。調査のため排水ポンプを手動で起動・停止させたところ、排水は良好なものの停止後に排水槽の水位が急上昇していることから、吐出逆止弁の動作不良および排水ポンプのごみの噛み込みと推定。当該逆止弁および排水ポンプを点検・修理、および排水槽を清掃。	2022/06/11	
3	4号機	タービン建屋地下3階(管理区域)西側通路上部の非放射性ドレン移送系配管溶接部にごく小さな孔が発生し、水(汚染なし)が滴下していることを確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該配管を修理。	2022/06/11	
4	その他	水処理設備の脱水運転中、脱水助剤供給機に異常を示す警報の発生を確認した。脱水助剤供給機粉体センサーおよびエゼクターの動作不良と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/06/09	